

男子決勝で勝ち、歓喜の「權立て」をする海上保安大チーム



発行所 神戸新聞社

神戸市中央区東川崎町 1-5-7  
郵便番号 650-8571  
神戸新聞ホームページ  
http://www.kobe-np.co.jp

無断で複写・転載することを禁じます



購読のお申し込み  
0120-16-8349

芦屋沖で第55回全日本カッター競技大会

輝け!不屈のシーマンシップ

男子は海上保安大  
女子神戸大が優勝

「第55回全日本カッター競技大会」が28日、芦屋浜前面水域で行われ、男子は海上保安大学校、女子は神戸大学がともに6年ぶりに優勝した。開会式で東日本大震災の犠牲者を悼み、被災者の生活復旧と被災地の産業復興に思いを致して黙とうをささげた。

〈男子成績〉	
優勝	海上保安大学校 11:22.78
2	神戸大学 11:32.38
3	長崎大学 11:32.50
4	東京海洋大海洋科学部 11:33.00
5	防衛大学校 11:44.75
6	東京海洋大海洋工学部 11:49.84
7	京都府立海洋高等学校 12:42.37
8	三重大学 12:45.94
9	日本大学※ 13:33.62
10	水産大学校※ 13:37.63
11	東海大学※ 13:45.69

  

〈女子成績〉	
優勝	神戸大学 7:01.31
2	九州看護福祉大学 7:30.41
3	国立館山海海上技術学校 7:35.63
4	三重大学 7:30.12
5	東京海洋大学 7:44.03
6	長崎大学※ 7:53.50

※印チームはクルーに欠員あり



一斉にスタートする男子決勝(上)と女子決勝(天候雨、北東の風2級、波高0.2m)

大会は男女の「カッター実力日本一」を決める場。各校とも、優勝艇のみに許される「權(かい)立て」を目指し、どんな海況にも対応できる漕法・漕力を磨いてきた。レースは予選、敗者復活、順位決定、決勝の順。短音4回・長音1回の笛でスタートの旗が振り下ろされると、各艇は、こん身のスタートダッシュで波を散らした。ゴールまで続いた力漕ぶりには、母校の名誉をかけた負けじ魂も垣間見え、岸壁から大きな声援と拍手が送られた。

女子		男子	
長崎大	3 4	防衛大	17 13
海上保安大	3 1	東京海大科	12 6
水産大	2	海上保安大	9 11
九州看護大	1 3	神戸大	5 5
神戸大	1 2	水産大	4 6
東京海大工	1 1	長崎大	3 5
防衛大	1	慶応島大	2 2
三重大	1	東京海大工	1 3
		日本大	1 2
		東海大	1

※男子は54回まで、女子は43~54回の成績



男女による選手宣誓

大会実行委員長の守田光博さん(神戸大学端艇部主将)は「どの学校のどの選手も一度は、カッターのつらさに弱気になったのではないか。それを乗り越え、不屈のシーマンシップを見せてくれた。この海の伝統を後輩たちに引き継いでほしい」と話した。



大会に花を添えた神戸大応援団